

2024年(令和6年)2月オホーツク管内倒産集計

令和6年3月5日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

2ヶ月連続で食品加工業者が倒産

発生件数1件、負債総額1億7,180万円

■前月比件数	同数(2024年1月)	1件)
負債総額	1億2,038万円増加(" 5,142万円)

■前年同月比件数	同数(2023年2月)	1件)
負債総額	1億180万円増加(" 7,000万円)

2024年2月の発生状況

2024年2月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生1件、負債総額1億7,180万円。前月、前年同月と比較し件数は同数、負債総額は増加となった。発生企業は雄武町内の水産加工業者。仕入価格高騰などから収益面は低調に推移し負債超過に転落。さらに、昨年2月の前代表者死去を機に先行きの見通しが立たなくなり、2月18日に事業を停止、事後処理を弁護士に一任した。なお、4年前(20年2月)には今年と同じ雄武町内の水産加工業者の経営破綻(負債総額5億7,500万円)があり、時期的な要因なども背景にあるとみられる。今年に入り2か月連続で食品加工業者の倒産が発生しており、今後の動向が懸念される状況だ。

2024年1～2月の発生推移

過去5年間の1～2月の発生推移は【右・表】の通り。平均発生件数は1.6件。同負債総額は2億780万円。

今年は前年、前々年と比較して件数・負債額ともに増加。昨年夏頃から見られる倒産企業増加の兆候が続いている。

過去5年間で今年1～2月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2019年	2件	1億4,100万円
2020年	3件	7億5,800万円
2021年	2件	7,000万円
2022年	0件	0円
2023年	1件	7,000万円
2024年	2件	2億2,322万円

今後の見通しと問題点

国内全体では、個人消費や観光産業などで活発な動きが見られる一方、依然として出口の見えないエネルギー・原材料価格の高止まりや深刻な人手不足、人件費高騰など企業活動におけるマイナス要素の根は深く、さらに今年は物流・運送業界における2024年問題も重くのしかかる。当局が発表する経済情勢報告では「景気は持ち直しつつある」との判断が示されているものの、物価上昇や金融資本市場の変動等がどのように影響するか不透明な部分も多い。

昨年のオホーツク管内は夏場以降に倒産企業増加の兆候が見られ、過去5か年で最も多い倒産件数、負債総額も2番目に多い水準に上った。年が明けてもその兆候が続き、1～2月にかけて2か月連続で食品加工業者が破綻するなど、重苦しい雰囲気は漂うスタートとなっている。昨年5月のコロナ5類移行を機に経済活動や各種イベントも本格的に再開され、地域における景気回復への気運は大いに高まっているが、一部業界ではコロナの後遺症で苦しむ事業者も見られ、先行き不透明感は拭えない。3月以降もまだまだ予断は許さない見通しだ。

